

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月30日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県宇都宮市松原1丁目2-9

氏 名 大林道路株式会社 栃木営業所
所長 鍋梨 貴史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 028-650-5007

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大林道路株式会社 栃木営業所
事業場の所在地	栃木県宇都宮市松原1丁目2-9
計画期間	令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	1,806,952千円
③ 従業員数	13名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場 → 産業廃棄物収集運搬業者 (委託) → 産業廃棄物処理業者 (委託)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本店 安全・品質環境部 → 関東支店 安全・品質環境部 → 栃木営業所 所長
 ↓
 現場担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙-①のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・工事に伴い発生した産業廃棄物については、現場にて分別を行い再利用を前提として委託した。		
② 計画	【目標】別紙-②のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年度同様引き続き再利用に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物発生時に、種類ごとに分け委託処理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き廃棄物を可能な限り種類ごとに分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】該当なし		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】別紙-①のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生利用業者を優先的に選定する。		

② 計画	【目標】別紙-②のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用業者を優先的に選定する。 ・優良認定処理業者への委託推進を図る。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙① 産業廃棄物処理実績表

分類	種類	コード	2022年度発生量(t)	自ら行う再生利用に関する事項	自ら行う中間処理に関する事項	自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項	優良認定処理業者への処理委託料	再生利用業者への処理委託料	認定熱回収業者への処理委託料	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託料	建設廃棄物の主な具体例	
安定型産業廃棄物	がれき類												
	コンクリート塊	1501	249.2				249.2	249.2				コンクリート破片	
	アスファルト・コンクリート塊	1502	28,785.5				28,785.5	10,294.5	18,491.0			アスファルト・コンクリート破片	
	その他のがれき類	1500	148.0				148.0		148.0			ブロック破片、レンガ、モルタルくず、瓦くず	
	石綿含有産業廃棄物	2440										石綿含有スレート板	
	廃プラスチック類	0660	6.8				6.8	5.0	1.8			廃発泡スチロール等梱包材、廃ビニール、廃シート類、廃合成ゴム	
	石綿含有産業廃棄物	2430	0.4				0.4		0.4			石綿含有ビニル床タイル	
	金属くず	1200	50.4				50.4		50.4			鉄骨鉄筋くず、金属加工くず、足場パイプ、保安堀くず	
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300										ガラスくず、タイル衛生陶磁器くず、耐火れんがくず	
	石綿含有産業廃棄物											(注) 廃石膏ボードは管理型産業廃棄物	
	建設混合廃棄物(安定型)	2420										石綿含有ケイ酸カルシウム板	
	(安定型と管理型のコード番号は同じ。)	2000	5.4				5.4	3.2	2.2			発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含まないもの	
	石綿含有産業廃棄物	2410										石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(安定型)	
	産業廃棄物	汚泥	0200	87.2				87.2	55.0	32.2			含水率が高く粒子の微細な泥上の掘削物 掘削物を標準仕様ダンプトラックに山積みができず、またその上を人が歩けない状態(コーン指数がおおむね200kN/m以下)。具体的には、場所打杭工法、泥水シールド工法等で生じる廃泥水。
木くず		0800	39.2				39.2		39.2			工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる木くず(具体的には型枠、足場材等、内装・建具工事等の残材、木造解体材等)	
紙くず		0700										工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる紙くず(具体的には包装材、段ボール、壁紙くず)	
繊維くず (※天然繊維のみ)		0900										工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる天然繊維くず(具体的には量、天然繊維系廃ウエス、縄、ロープ類)	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		1300										廃石膏ボード	
石綿含有産業廃棄物		2420										石綿含有廃石膏ボード	
建設混合廃棄物(管理型)		2000	29.5				29.5	27.2	2.3			発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含むもの	
石綿含有産業廃棄物		2410										石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(管理型)	
燃え殻		0100										燃え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含まないもの)	
廃油		0300										防水アスファルト、アスファルト乳剤等の使用残さ	
廃酸		0400										硫酸、塩酸、各種の有機酸類など、全ての酸性液体	
廃アルカリ		0500										廃ソーダ液、金属せっけん液など、すべてのアルカリ性廃液	
特別管理産業廃棄物		廃石綿等	7421										吹付けアスベスト、石綿保温材(飛散性アスベスト廃棄物)
		廃油	7010										揮発油類、灯油類、軽油類(概ね引火点70℃以下)
	廃油	7425										廃油(基準を超える有害物質を含むもの)	
	燃え殻	7424										燃え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含むもの)	
	汚泥	7426										汚泥(基準を超える有害物質を含むもの)	
総合計			29,401.6	0.0	0.0	0.0	29,401.6	10,384.9	19,016.7	0.0	0.0		

別紙-② 産業廃棄物処理計画表

分類	種類	コード	2023年度 目標(t)	自ら行う再 生利用に關 する事項	自ら行う中 間処理に關 する事項	自ら行う埋 立処分又は 海洋投入処 分に関する 事項	産業廃棄物の 処理の委託 に関する事項	建設廃棄物の主な具体例					
								優良認定処 理業者への 処理委託料	再生利用業 者への処理 委託料	認定回収 業者への処 理委託料	認定回収 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託料		
安定型産業廃棄物	がれき類												
	コンクリート塊	1501	240.0				240.0		240.0			コンクリート破片	
	アスファルト・コンクリート塊	1502	20,000.0				20,000.0	10,000.0	10,000.0			アスファルト・コンクリート破片	
	その他のがれき類	1500	140.0				140.0		140.0			ブロック破片、レンガ、モルタルくず、瓦くず	
	石綿含有産業廃棄物	2440										石綿含有スレート板	
	廃プラスチック類	0660	6.0				6.0	6.0				廃発泡スチロール等梱包材、廃ビニール、廃シート類、廃合成ゴム	
	石綿含有産業廃棄物	2430										石綿含有ビニル床タイル	
	金属くず	1200	50.0				50.0		50.0			鉄骨鉄筋くず、金属加工くず、足場パイプ、保安柵くず	
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300										ガラスくず、タイル衛生陶磁器くず、耐火レンガくず (注) 廃石膏ボードは管理型産業廃棄物	
	石綿含有産業廃棄物												
	建設混合廃棄物(安定型) (安定型と管理型のコード番号は同じ。)	2420										石綿含有ケイ酸カルシウム板	
	石綿含有産業廃棄物	2000	5.0				5.0	5.0				発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外 の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含まないもの	
	石綿含有産業廃棄物	2410										石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(安定型)	
	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物	汚泥	0200	80.0				80.0	50.0	30.0			含水率が高く粒子の微細な泥上の掘削物 掘削物を標準仕様ダンプトラックに山積みができず、またその 上を人が歩けない状態(コーン指数がおおむね200kN/m ² 以下)。具体的には、 場所打杭工法、泥水シールド工法等で生じる 廃泥水。
		木くず	0800	30.0				30.0		30.0			工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる木くず(具体的には型 枠、足場材等、内装・建具工事等の残材、木造解体材等)
紙くず		0700										工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる紙くず(具体的には包 装材、段ボール、壁紙くず)	
繊維くず (※天然繊維のみ)		0900										工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる天然繊維くず(具体的 には畳、天然繊維系廃ウエス、縄、ロープ類)	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		1300										廃石膏ボード	
石綿含有産業廃棄物		2420										石綿含有廃石膏ボード	
建設混合廃棄物(管理型) (安定型と管理型のコード番号は同じ。)		2000	25.0				25.0	25.0				発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外 の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含むもの	
石綿含有産業廃棄物		2410										石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(管理型)	
燃え殻		0100										燃え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含まないもの)	
廃油		0300										防水アスファルト、アスファルト乳剤等の使用残さ	
廃酸		0400										硫酸、塩酸、各種の有機酸類など、全ての酸性液体	
廃アルカリ		0500										廃ソーダ液、金属せっけん液など、すべてのアルカリ性廃液	
特別管理産業廃棄物		廃石綿等	7421										吹付けアスベスト、石綿保温材(飛散性アスベスト廃棄物)
		廃油	7010										揮発油類、灯油類、軽油類(概ね引火点70℃以下)
		廃油	7425										廃油(基準を超える有害物質を含むもの)
	燃え殻	7424										燃え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含むもの)	
	汚泥	7426										汚泥(基準を超える有害物質を含むもの)	
総合計			20,576.0	0.0	0.0	0.0	20,576.0	10,086.0	10,490.0	0.0	0.0		